※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　理科

教科	理科	科目	総合科学 （学校設定科目）	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りには、理屈はわからないけれども便利に使っているものや科学の原理・法則に基づいた事象がたくさんあります。どのような科学技術が利用されているのか、どのような科学の原理・法則で説明できるのかを少しでも知って、科学的な見方や考え方を養いましょう。また、科学を通して自然と人間生活の中にある疑問に気づき、その疑問を解決する手法と態度を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・日常生活の中で出会う事象を科学的にとらえることのできる目を養い、それらのなかに自然の法則を発見し楽しむことのできる科学的な探究心と科学的素養を身につける。
・実験・観察、ものづくりなどを体験することや、現在の最新科学技術を学習することを通して、身近なものから社会問題まで総合的・統合的に考える力と理論的思考を育む。
・これまで学習した各科目の専門的知識と技術を深化・統合させ、自ら設定した科学に関する課題について、その解決を目指し主体的に取り組む態度を育てるとともに、PDCA サイクルの考え方を実践する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身につけている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
中間考査まで	テーマ設定に向けた科学技術の学習	・最近の科学トピック ・調べ習について インターネット検索 新聞記事を読む ・これからの科学技術と人間	a: 科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、人間生活を豊かにする反面、使い方を誤ると地球全体にも影響を及ぼすことになることを理解している。テーマに沿ったインターネット検索を行い、調査した内容や新聞記事から得られた情報をまとめることができる。 b: 科学と人間生活に関する課題について具体例をあげ、その課題の研究を通して今後の科学研究や人間生活のあり方について考え表現することができる。 c: 自然と人間生活の関わりに興味をもち、それらの中にある疑問に自ら気づき、意欲的に学習しようとしている。	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート レポート 課題	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート レポート 課題	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート 実験
期末考査まで	テーマ設定・調査・研究・研究の報告	・テーマの設定 ・テーマに関する情報収集 ・類似研究の調査・再現実験 ・目的・仮説の設定 ・研究計画の作成 ・研究の実践 ・結果のまとめ・考察 ・発表準備 ・研究の発表・報告	a: テーマに関する情報と類似研究について調査しまとめることができ、その内容を理解している。研究計画に沿った実験を行い、研究結果をまとめることができ、その内容を理解している。研究記録の管理ができ、得られた結果を考察し報告書にまとめることができる。 b: テーマに関する情報収集の結果から、自身の仮説を設定し、研究計画が適切か判断することができる。研究結果を考察し、仮説が立証されるか判断することができる。 c: テーマに沿った研究に、意欲的に取り組もうとしている。	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート レポート 課題	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート レポート 課題	学習状況の観察 発問評価 ノート・ワークシート 実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度